

旅館及び中小ホテルへの主な支援策について

1. 旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・魅力発信事業

(1) 事業内容

宿泊予約サイト（OTA）上に特設ページを設け、京都らしい和のしつらえ、京料理、文化体験等の旅館ならではの魅力を観光客に発信し、旅館の魅力向上や利用促進に取り組む（年2回、夏と冬の観光閑散期に実施）。

事業実施にあたっては、ターゲティングメールの発信や宿泊者に対するインセンティブの設定といったOTA事業者の強みも活用しながら、旅館のプラン作成と情報発信を支援する。

(2) 令和5年度予算額

9,000千円

2. 宿泊施設等と連携した京都経済の域内循環促進事業（通称：コトムスピ・プロジェクト）

(1) 事業内容

市内の宿泊事業者と、伝統産業製品や京都産食材、地域産木材等の市内事業者とのビジネスマッチングを展開するなど、京都ならではの自然、ものづくりの魅力を活かした宿泊サービスの質の向上を図るとともに、その経済波及効果を地域の活性化や京都経済の域内循環につなげる。

(2) 令和5年度予算額

14,000千円

3. 観光事業者（宿泊・飲食）担い手確保等支援事業（令和5年9月補正予算）

(1) 事業内容

秋の観光シーズン以降、観光客の一層の増加が見込まれることを踏まえ、コロナ禍前よりも担い手不足が深刻化している宿泊・飲食事業者に対して、担い手の確保及び業界への定着に向けた育成や安定した雇用環境づくりへの支援を行う。

ア 宿泊・飲食業界の魅力発信

質の高い「おもてなし」で世界中の皆様をお迎えする京都の宿泊・飲食業界で、働く魅力、学べることなどを広く紹介することで、担い手の確保につなげるとともに、安定した雇用環境づくりを行っている事業者の取組事例を業界内に広く発信することで、事業者による、よりよい雇用環境づくりの機運を醸成する。

(次ページあり)

イ 宿泊・飲食事業者への求人サイト掲載支援

秋の観光シーズンに向けて、宿泊・飲食事業者が求人サイトの活用により担い手を確保する取組に対して支援を行う。

ウ 宿泊・飲食業界への定着に向けた担い手育成支援

宿泊・飲食業界の従業員等に対して、京都を職場にすることの魅力を再認識することやスキルアップ等につながる研修等を行い、宿泊・飲食業界における担い手の確保・継続、業界への定着につなげる。

(2) 令和5年度予算額

58,000千円